

3. 幕府政治の改革と農村の変化

幕府政治の改革

17世紀後半、幕府の財政がピンチに

原因

- 金や銀の産出量が激減した。
- 江戸の町と城が大火事に襲われた。
- 特産品が増えて米の値段が安くなってしまった。
- 儒学を奨励していた綱吉が孔子をまつる湯島聖堂を建てたり、寺院の建設費用がかさんだ。



5代将軍 徳川綱吉の政治

お金をたくさん作れば幕府の財政が助かると思ったのに...

○ 貨幣の質を落として多量の小判を作った。

その結果、お金の価値が下がって、物価が上がってインフレを起してしまっただ。

(ますます幕府の財政が悪化するはめに...)

○ 「生類憐みの令」を出した。

子宝に恵まれずに悩んでいた綱吉は、占い師に「あなたに子供ができないのは前世に殺生をしたからでしょう。これからは命を大切にしろ」と言われたから。綱吉は戌年生まれたので特に犬を大事にした。

虫を殺したら切腹

犬が通るときは土下座

で宅里予犬問題や狂犬病問題は解消した。